

中学校 社会科 採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 エ		4
	2 オ		5
	3 オ		5
	4 イ		5
	5 大陸西岸にある都市aは偏西風と暖流である北大西洋海流の影響で気温の年較差が小さいのに対し、大陸東岸にある都市eは夏季に海洋、冬季に大陸からの季節風の影響で気温の年較差が大きい。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
2	1 輸入代替		5
	2 エ		5
	3 イ		5
	4 グラフからは、1990年から2010年にかけて乗用車1台当たり人口は減少し、自動車生産台数が伸びていることが分かる。その要因として、インドの低賃金の労働力と大きな消費市場を求めて、日本などの多国籍企業が進出したことが考えられる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
3	1 東海		4
	2 ウ		5
	3 エ		5
	4 仏教のもつ鎮護国家の思想によって国家の安定をはかるうとしたため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	5 IV→II→I→III	全部合っているものだけを正答とする。	5
4	1 (ウ)		4
	2 桂園時代		5
	3 エ		5
	4 石炭の生産量が1946年まで減少しているのは、第二次世界大戦による荒廃で極度の不振に陥ったためであり、その後、増加しているのは、石炭・鉄鋼などの重要産業部門に資材と資金を集中する傾斜生産方式が採用され、生産回復の基盤が与えられたため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	5 (ウ)		5

中学校 社会科 採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
5	1	(1) (オ)		5	
		(2) 備蓄		5	
	2	耕作放棄地や後継者のいない農家の農地について、認定農業者などの担い手による有効活用を図ること。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	3.0
		将来における我が国の農業を支える人材となる青年層の新規就農者を確保し、定住を促進すること。			
	3	改正農地法施行前と施行後の一般法人の参入数を比べると、施行後の参入数が約3倍に増加していることから、貸借であれば、全国どこでも一般法人が参入できるようになるなど、農地を利用して農業経営を行うための要件が緩和された。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	
4	6次産業化		5		
6	1	(カ)		5	
	2	選択 有利になる。	選択と理由がともにあっているものだけを正答にする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	
		理由 日本から自動車輸出する企業が、1台1万ドルの乗用車を輸出するとき、この企業が受け取る円は80万円から100万円になり、20万円の増収になるから。			
	3	EPA 貿易の自由化に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルール作り、様々な分野での協力の要素等を含む、幅広い経済関係の強化を目的とする協定。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
FTA 特定の国や地域の間で、物品の関税やサービス貿易の障壁等を削減・撤廃することを目的とする協定。					
4	グラミン銀行		5		
7	江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換の様子を、中世の武家政治との違いに着目して考察させる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	9		
8	民主政治を推進するためには、公正な世論の形成や国民の政治参加が必要となること、また、国民の意思が国政や地方の政治に十分反映させることが必要であり、国民一人一人が政治に対する関心を高め、主権者であるという自覚を深め、主体的に社会に参画することが大切であることについて考えさせる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12		

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 【例】	採 点 上 の 注 意	配 点																																																		
選択番号 1	<p>(1)</p> <table border="1"> <caption>合計特殊出生率の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>韓国</th> <th>スウェーデン</th> <th>日本</th> <th>フランス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1970</td><td>4.8</td><td>2.0</td><td>2.2</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>1975</td><td>3.5</td><td>1.9</td><td>1.8</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>1980</td><td>2.8</td><td>1.8</td><td>1.7</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>1985</td><td>2.2</td><td>1.8</td><td>1.6</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>1990</td><td>1.8</td><td>2.1</td><td>1.5</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>1995</td><td>1.5</td><td>1.8</td><td>1.4</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>2000</td><td>1.3</td><td>1.6</td><td>1.3</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>2005</td><td>1.2</td><td>1.8</td><td>1.2</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>2010</td><td>1.3</td><td>2.0</td><td>1.3</td><td>2.0</td></tr> </tbody> </table>	年	韓国	スウェーデン	日本	フランス	1970	4.8	2.0	2.2	2.5	1975	3.5	1.9	1.8	2.0	1980	2.8	1.8	1.7	2.0	1985	2.2	1.8	1.6	1.9	1990	1.8	2.1	1.5	1.8	1995	1.5	1.8	1.4	1.8	2000	1.3	1.6	1.3	1.9	2005	1.2	1.8	1.2	1.9	2010	1.3	2.0	1.3	2.0	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
年	韓国	スウェーデン	日本	フランス																																																	
1970	4.8	2.0	2.2	2.5																																																	
1975	3.5	1.9	1.8	2.0																																																	
1980	2.8	1.8	1.7	2.0																																																	
1985	2.2	1.8	1.6	1.9																																																	
1990	1.8	2.1	1.5	1.8																																																	
1995	1.5	1.8	1.4	1.8																																																	
2000	1.3	1.6	1.3	1.9																																																	
2005	1.2	1.8	1.2	1.9																																																	
2010	1.3	2.0	1.3	2.0																																																	
9	<p>(2)</p> <p>図1・2から、労働力率が高いスウェーデンとフランスで、合計特殊出生率が先進国で人口を維持する目安となる人口置換水準 2.1 に近付いて安定していることから、労働力率が高い国が合計特殊出生率が高いことを理解させる。また、韓国と日本はスウェーデンとフランスと比べ、育児をする年齢層の30・40歳代の労働力率がかなり低く、合計特殊出生率が低いことに気付かせる。</p> <p>それらのことから、スウェーデンやフランスでは様々な子育て支援制度に支えられて女性の社会進出が進んでおり、合計特殊出生率も安定し、逆に女性の社会進出が進んでいない日本や韓国は合計特殊出生率が低くなっていることを理解させる。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7																																																		
選択番号 2	<p>(1)</p> <p>資料Ⅰから、1616年までは外交文書が東南アジア、朝鮮、明、ヨーロッパなど多方面に数多く出されているが、その後は減少し最後は朝鮮だけになっていることに気付きを基に、資料Ⅱを用いて、江戸幕府は初めの頃は、ヨーロッパ諸国の求めに応じて貿易を行っていたものの、幕藩体制が確立する中で、キリスト教を禁止する政策をとり、貿易を統制する政策に変化したことを考察させる。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5																																																		
	<p>(2)</p> <p>江戸幕府は長崎でオランダや中国と、対馬藩は朝鮮と、薩摩藩は琉球王国と、松前藩はアイヌと貿易を行い、これらの「4つの口」を通して、様々な情報や文物が入ってくるなど世界と結び付いていた。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7																																																		

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点									
	<p>(式)</p> $195 \text{ 万円} \times 0.05 = 9 \text{ 万 } 7500 \text{ 円}$ $(330 \text{ 万円} - 195 \text{ 万円}) \times 0.1 = 13 \text{ 万 } 5000 \text{ 円}$ $(695 \text{ 万円} - 330 \text{ 万円}) \times 0.2 = 73 \text{ 万円}$ $(700 \text{ 万円} - 695 \text{ 万円}) \times 0.23 = 1 \text{ 万 } 1500 \text{ 円}$ $9 \text{ 万 } 7500 \text{ 円} + 13 \text{ 万 } 5000 \text{ 円} + 73 \text{ 万円} + 1 \text{ 万 } 1500 \text{ 円}$ $= 97 \text{ 万 } 4000 \text{ 円}$ <p>(解答)</p> <p>97 万 4000 円</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。</p>	<p>5</p>									
<p>9</p> <p>選択 番号 3</p>	<p>生徒Aが答えた方式で、課税される所得金額が195万円と196万円の場合の税額と税引後の金額をそれぞれ算出させ、下のような表に整理させる。</p> <table border="1" data-bbox="300 936 798 1086"> <thead> <tr> <th></th> <th>税 額</th> <th>税引後の金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>195 万円</td> <td>195万円×0.05 =9万7500円</td> <td>195万円-9万7500円 =185万2500円</td> </tr> <tr> <td>196 万円</td> <td>196万円×0.1 =19万6000円</td> <td>196万円-19万6000円 =176万4000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>さらに、この表から、課税される所得金額が1万円増えたことにより、税額は9万8500円増え、税引後の金額は8万8500円減っていることに着目させる。</p> <p>以上のことから、生徒Aが答えた方式では、所得が増えたにもかかわらず、税引後の金額が大幅に減少するという不合理が生じることに気付かせる。</p>		税 額	税引後の金額	195 万円	195万円×0.05 =9万7500円	195万円-9万7500円 =185万2500円	196 万円	196万円×0.1 =19万6000円	196万円-19万6000円 =176万4000円	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。</p>	<p>7</p>
	税 額	税引後の金額										
195 万円	195万円×0.05 =9万7500円	195万円-9万7500円 =185万2500円										
196 万円	196万円×0.1 =19万6000円	196万円-19万6000円 =176万4000円										